

宗像市市民参画等推進審議会

第3回第2次宗像市市民活動推進プラン策定専門部会

(会議内容要点筆記)

日 時	平成31年3月6日（水）13：30～
場 所	メイトム宗像 202会議室
委 員	■佐藤靖成 ■種田明美 ■福岡佐知子 ■東博子 ■山田明（五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（中野、中脇、平川、大久保、神）

はじめに

コミュニティ協働推進課課長中野からあいさつ

本日は、第1回、第2回の専門部会でいただいたご意見を踏まえて、答申案を確認し、第2次市民活動推進プランの方向性を固めていきたい。積極的なご意見を賜りたい。

1. 前回議事録の確認

事務局から、配布資料に基づき説明

《質疑応答等》

（意見）議事録の「2. 公民館の現状と課題について」の副会長からの補足の部分で、公民館に関する調査をどこが実施した調査か分かりづらいため、「文科省の全国調査によると」と入れてはどうか。

また、「2. 公民館の現状と課題について」の意見の部分で、「社会福祉協議会などの活発に社会教育に取り組んでいる」とあるが、社会福祉協議会は、「地域福祉」を理念としているため、「社会教育」ではなく「地域福祉」という表現にしていただきたい。

事務局から「市民活動団体アンケート集計結果」について説明

プラン改定にあたって、市民活動・NPOセンターを運営する「むなかた市民フォーラム」に、11月末に団体に依頼した「市民活動団体アンケート」の集計をしていただいた。第1回、第2回の専門部会でいただいたご意見と近い結果が出ている。これらの結果を踏まえて、改定プランに策定していきたい。

事務局から「市民参加と協働のまち船橋」、「宗像市子ども・子育て支援事業計画」、「宗像市学校教育基本計画」について説明

「市民参加と協働のまち船橋」には、「市民参加」、「協働」について基本的なことをまとめてある。宗像市においても、どうして「協働」が必要なのかを踏まえてまちづくりを進める必要がある。また、イラストも使いながら分かりやすくまとめてある。行政活動と民間活動の関係図の部分の「民民協働」という言葉は、宗像市の第1次プランにはない。大事なポイントなので、改定プランに盛り込みたい。

「宗像市子ども・子育て支援事業計画」は、これまでの部会で、子育て支援に関して、他のプランとの整合性を図ってほしいとのご意見をいただいたので紹介するものである。P5の重点施策を意識しながら、教育子ども部と連携して改定プランの策定にあたりたい。「宗像市学校教育基本計画」についても、子育て支援に関する府内の整合性を、とご意見いただいたものである。特にP9「学校・家庭・地域の役割とめざす姿」、P10の「宗像市の教育の基本的方向性」などを意識しながら、また教育委員会とすり合わせながら、策定にあたりたい。

会長から補足

「宗像市学校教育基本計画」の「はじめに」の部分にあるように、宗像市において、平成13年までは、子育ては福祉関連の部署がその役割を担ってきたが、平成13年から教育関連の部署に移管し、学校教育基本計画の前身である「教育21世紀プラン」、「子育て支援計画」、「生涯学習推進プラン」の、子育てに関する3つのプランを初めて策定した。こうして、宗像市は早くから地域で子育て支援をしてきた。今年4月からコミュニティスクールにモデル事業として取り組み始める。平成32年からスタートする改定プランと合わせると深まると考えられるので、教育委員会の動向も踏まえて改定していただければと思う。

2. 答申（案）の確認について

事務局から、配布資料に基づき説明

《質疑応答等》

（意見）（6）の前半の「社会情勢の変化により」から「公民館の有効的な活用について検討すること」の部分と、後半の「また、市民ニーズの高い「子育て支援」や「高齢者支援」等、」からの部分を分けてもいいのではないか。

（意見）行政サイドに先んじて協働に手をつけてほしいので、「行政職員の理解」、「市民と行政の顔の見える関係性」についてもっと言及してほしい。

（意見）（6）の部分で、前半の「社会教育」、「生涯学習」の部分の表現は概念的だが、後半の「公民館」の部分は具体的な内容であるため、「公民館」の部分から切って「子育て支援」、「高齢者支援」と別項目でまとめてはどうか。

(事務局から回答) 宗像市において、公民館は自治公民館であり、他の自治体での地区公民館の役割をコミュニティ・センターが担っているため、「公民館」という言葉が分かりづらいかもしれない。また、自治公民館に行政がどこまで踏み込んでいいかというところもある。その点も踏まえて表現を工夫したい。

(意見) コミュニティ・センターという言葉も入れた方がいいかもしれない。

(意見) 「市民参画」「協働」について、プランに文言があると、行政職員が動きやすいところもあると思う。

(意見) 何のためにするかを改めて理解する。市民にとっては行政の持っている専門性を知ることができる。行政にとっても、行政が持っていないものを市民が持つており、協働のメリットがある。協働の後押し、役割としての位置付けがあるといいと思う。

(事務局から回答) 前々から行政職員の意識改革という課題があった。職員としてもつべき協働の意識や職員としての在り方について、改定プランに落とし込みたい。

3. プランの名称について

前回議事録を基に、具体的な名称案を協議

《名称案》

- ・むなかたGENKI プラン → 英語で書くと海外の方にも興味を持ってもらえる。
- ・むなかたプラン元気丸 → 船のイメージ。
- ・ムナカタプラン元気丸
- ・ムナカタのかたち (形・カタチ)
- ・ムナカタロウ、ムナカタ、カタロウ → 語ることが必要だと思うから。
- ・みんなでつくる協働のまちづくり → 協働が関わる言葉が入った方がいいと思う。
- ・宗像で暮らす私たちの
- ・ムナカタプラン—協働のまちづくり—
- ・宗像市（民参画・）協働のまちづくり（推進）プラン

(意見) メインタイトルを分かりやすくやわらかいもの、サブタイトルをきっちりとした印象のものにしたら良いと思う。

(意見) メインのやわらかいタイトルは、ビジョン的なイメージや、やったことで行きつく名称にした方がいいと思う。また、メインタイトル、サブタイトルは、今後組み合わせながら考えていくと良いと思う。

(事務局から回答) 今回出したプランの名称を基に、今後、審議会全体で検討していきたい。

4. 今後のスケジュールについて

事務局から、配布資料に基づき説明

途中、臨時的に部会を1～2回開催させていただくこともある。その時は、改めてご相談させていただく。

《質疑応答等》

なし。

5. その他

なし。

= 散会 =